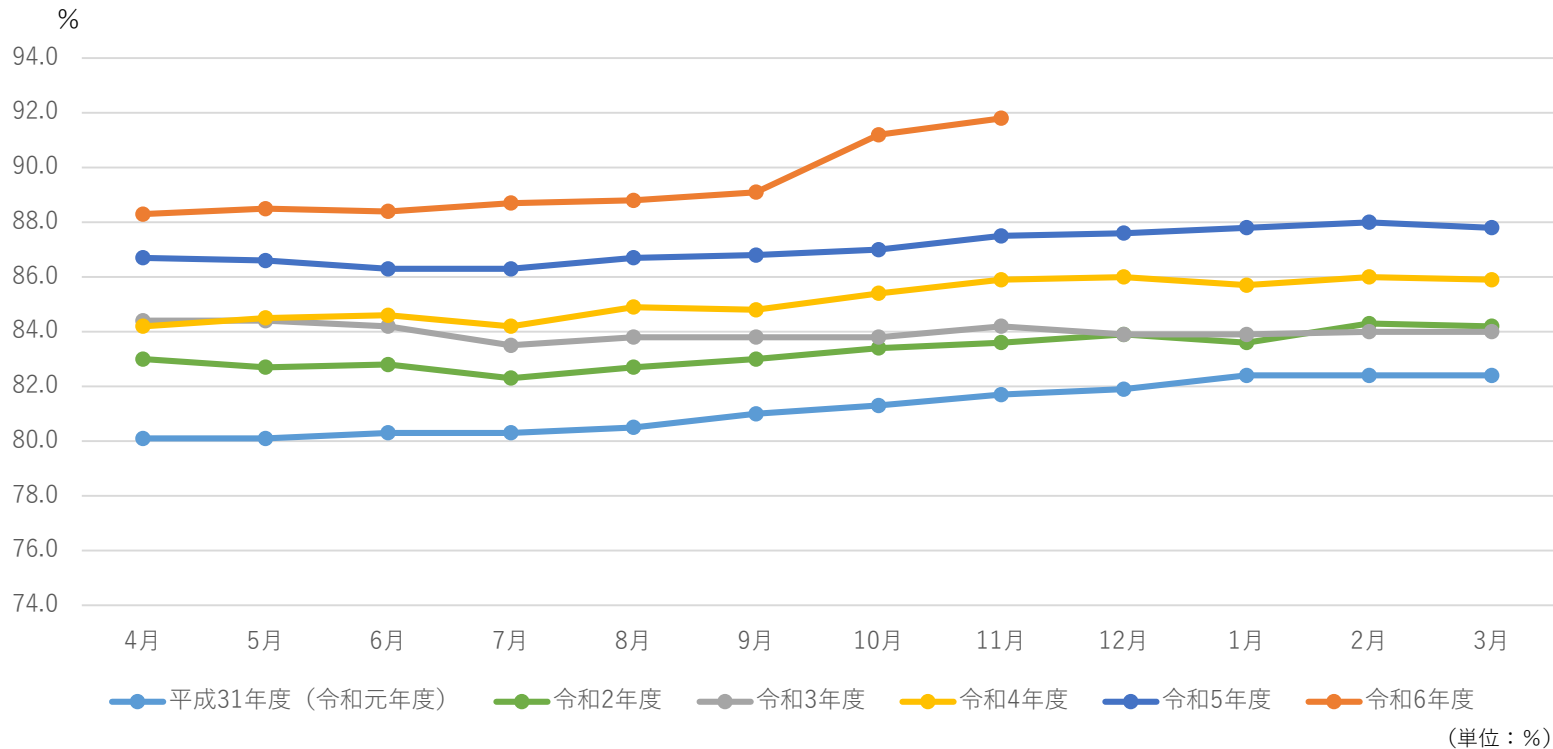
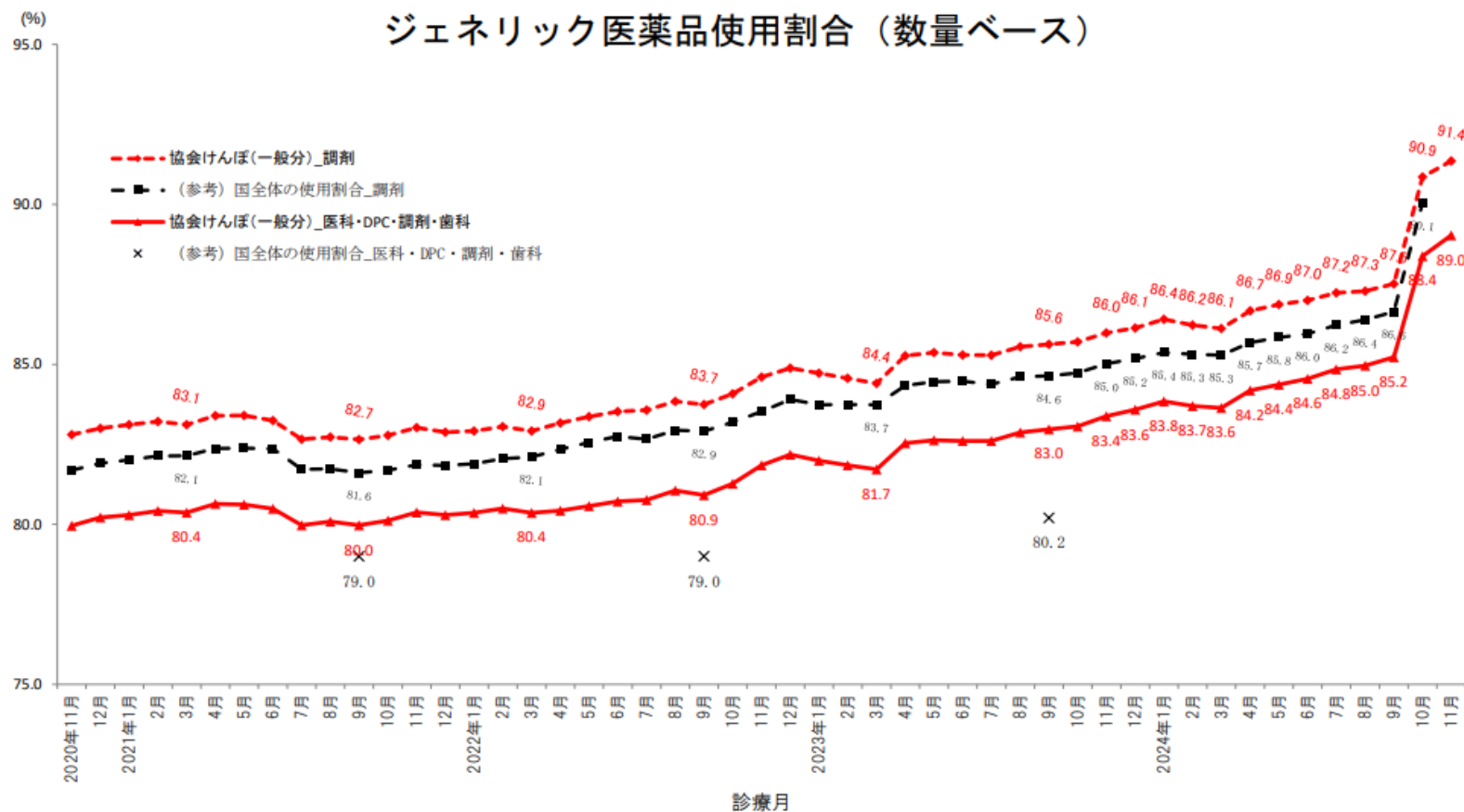


ジェネリック医薬品使用割合の推移



	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
		前年同月差		前年同月差		前年同月差		前年同月差		前年同月差		前年同月差
4月	80.1	3.5	83.0	2.9	84.4	1.4	84.2	▲ 0.2	86.7	2.5	88.3	1.6
5月	80.1	3.1	82.7	2.6	84.4	1.7	84.5	0.1	86.6	2.1	88.5	1.9
6月	80.3	3.1	82.8	2.5	84.2	1.4	84.6	0.4	86.3	1.7	88.4	2.1
7月	80.3	3.0	82.3	2.0	83.5	1.2	84.2	0.7	86.3	2.1	88.7	2.4
8月	80.5	2.8	82.7	2.2	83.8	1.1	84.9	1.1	86.7	1.8	88.8	2.1
9月	81.0	2.9	83.0	2.0	83.8	0.8	84.8	1.0	86.8	2.0	89.1	2.3
10月	81.3	2.9	83.4	2.1	83.8	0.4	85.4	1.6	87.0	1.6	91.2	4.2
11月	81.7	2.7	83.6	1.9	84.2	0.6	85.9	1.7	87.5	1.6	91.8	4.3
12月	81.9	2.8	83.9	2.0	83.9	0.0	86.0	2.1	87.6	1.6		
1月	82.4	2.9	83.6	1.2	83.9	0.3	85.7	1.8	87.8	2.1		
2月	82.4	2.6	84.3	1.9	84.0	▲ 0.3	86.0	2.0	88.0	2.0		
3月	82.4	2.7	84.2	1.8	84.0	▲ 0.2	85.9	1.9	87.8	1.9		

【参考】ジェネリック医薬品使用割合の推移（全国版）



注1. 協会けんぽ(一般分)の医科、DPC、歯科、調剤レセプトについて集計したものである。(ただし、電子レセプトに限る。)

なお、DPCレセプトについては、直接の診療報酬請求の対象としていないコーディングデータを集計対象としている。

注2. 「数量」は、薬価基準告示上の規格単位ごとに数えたものをいう。

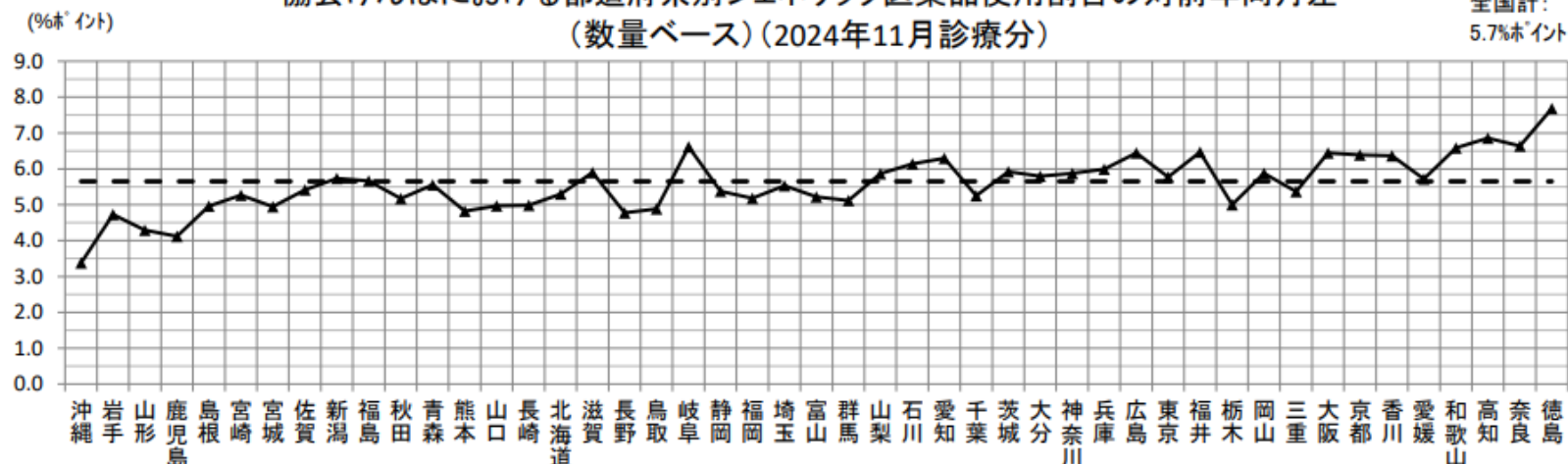
注3. $\frac{\text{〔後発医薬品の数量〕}}{\text{〔〔後発医薬品のある先発医薬品の数量〕} + \text{〔後発医薬品の数量〕}}$ で算出している。医薬品の区分は、厚生労働省「各先発医薬品の後発医薬品の有無に関する情報」による。

注4. 「国全体の使用割合_調剤」は「調剤医療費(電算処理分)の動向」(厚生労働省)、「国全体の使用割合_医科・DPC・調剤・歯科」は「医薬品価格調査」(厚生労働省)による。

注5. 後発医薬品の収載月には、後発医薬品が初めて収載される先発医薬品があると算出式の分母の対象となる先発医薬品が増えることにより、後発医薬品割合が低くなることもある。

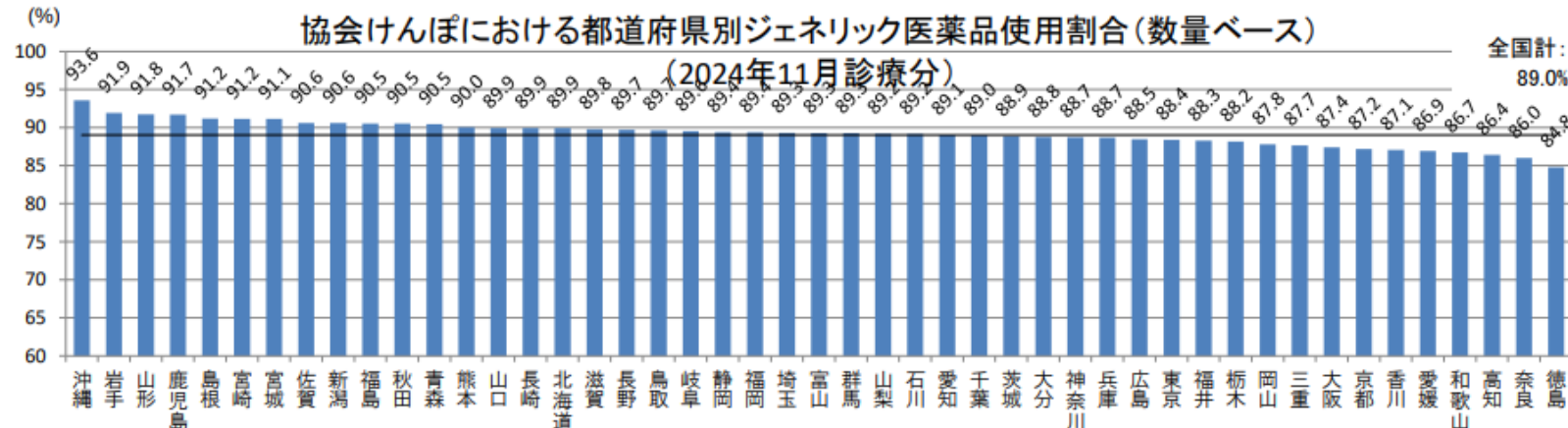
協会けんぽにおける都道府県別ジェネリック医薬品使用割合の対前年同月差
(数量ベース)(2024年11月診療分)

全国計:
5.7%ポイント



協会けんぽにおける都道府県別ジェネリック医薬品使用割合(数量ベース)
(2024年11月診療分)

全国計:
89.0%



注1. 協会けんぽ(一般分)の医科、DPC、歯科、調剤レセプトについて集計したものである。(ただし、電子レセプトに限る。)

なお、DPCレセプトについては、直接の診療報酬請求の対象としていないコーディングデータを集計対象としている。

注2. 「数量」は、薬価基準告示上の規格単位ごとに数えたものをいう。

注3. 都道府県は、加入者が適用されている事業所所在地別に集計したものである。

注4. $\text{[後発医薬品の数量]} \div \{ \text{[後発医薬品のある先発医薬品の数量]} + \text{[後発医薬品の数量]} \}$ で算出している。医薬品の区分は、厚生労働省「各先発医薬品の後発医薬品の有無に関する情報」による。